

マナーのツボ

商談中に電話がかかってきたら



先日、仕事の打ち合わせ中に相手の電話が鳴りました。ヒヨヒヨとヒヨコの着信音に驚く私をよそに、当たり前のように話し始めました。ほんの2、3分ですが、何だか後回しにされた気分。私との仕事が重要な位置づけでないように思え、正直仕事へのモチベーションが下がりました。

人に会う時はあらかじめ着信音を消しておくべきです。うっかり切り忘れて鳴ってしまったら「大変申し訳ございません」と少し慌てながらおわびの一言を。

もし電話に出る場合は、相手の許可を得てからにします。出た後は「今商談中ですので、後ほどかけ直します」と早々に切るようにします。待たされる側は、共有する時間への配慮が感じ

出る場合は許可を得てから

られると「お互いさま、私も気を付けよう」と共感できます。少々タイミング悪く電話をかけた人に対しても丁寧な対応です。

別の仕事の連絡を待っていて、迅速な対応が迫られることもあります。そんな時、商談前に「一本急ぎの電話が入るかもしれません。ご了承くださいただけではないでしょうか」とお願いしておくと、万が一かかってきても相手に不快な思いをさせずに済みます。許可を得ているからと言って長々と話してはいけません。すぐに切り、お礼を述べます。

ヒヨコの着信音のような音は一瞬場を和やかにしますが、目上の方や顧客、重要な会議の場合はNGです。その場は笑って済ませられても、内心気分を害する方もいるからです。何より仕事に対する姿勢を問われるので注意が必要です。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)